

問1 板垣退助らが中心となって展開された、憲法の制定や議会（国会）の開設を求める運動を何という？

1. 憲政擁護運動 2. 新人会運動 3. 自由民権運動 4. 大正デモクラシー

問2 第一次世界大戦において、軍事だけでなく国民のあらゆる物資や労働力を動員して行われた戦争の形態を何という？

1. 持久戦 2. 電撃戦 3. 消耗戦 4. 総力戦

問3 津田梅子らが最年少の女子留学生として同行し、欧米の文明を視察したことで知られる政府の使節団を何という？

1. 岩倉使節団 2. 遣欧使節 3. 遣米使節 4. 遣唐使

問4 明治時代の産業革命期に、日本で発展を遂げ、綿糸の輸出入の逆転に大きく貢献した分野を何という？

1. 重工業 2. 軽工業 3. 機械工業 4. 化学工業

問5 日清戦争後に結ばれ、日本が台湾などを清から割譲されることになった講和条約を何という？

1. アイグン条約 2. 北京条約 3. 下関条約 4. 南京条約

問6 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？

1. 石炭 2. 茶 3. 綿糸 4. 生糸

問7 大隈重信が結成した立憲改進黨と並び、板垣退助が中心となって結成された、自由民権運動を推進した政党を何という？

1. 立憲改進黨 2. 自由党 3. 立憲帝政党 4. 立憲政友会

問8 日清戦争後に結ばれた講和条約で、日本が獲得した領土をめぐる起こった干渉のきっかけとなった条約を何という？

1. 下関条約 2. 天津条約 3. 北京条約 4. ポーツマス条約

問9 明治時代、北方警備や開拓のために政府が統治の対象とした島を何という？

1. 樺太 2. 台湾 3. 北海道 4. 沖縄県

問10 1911年に中国で起こり、清を倒す原動力となった革命を何という？

1. 太平天国の乱 2. 義和団事件 3. 五四運動 4. 辛亥革命

問11 大日本帝国憲法下において、帝国議会などが担った国の法律を作る働きを何という？

1. 司法 2. 立法 3. 行政 4. 軍令

問12 日清戦争の賠償金を元手に、日本の重工業発展の基礎として1901年に建設された製鉄所を何という？

1. 八幡製鉄所 2. 官営富岡製糸場 3. 三菱長崎造船所 4. 釜石製鉄所

問13 欧米列強に対抗して国力を高めるため、明治政府が掲げたスローガンを何という？

1. 殖産興業 2. 教育勅語 3. 富国強兵 4. 文明開化

問14 19世紀後半、欧米列強が軍事力や経済力を背景に他国を侵略し、植民地支配を広げた動向を何という？

1. 全体主義 2. 社会主義 3. 軍国主義 4. 帝国主義

問15 第一次世界大戦において、日本が参戦する根拠となった、1902年にイギリスと結んだ同盟を何という？

1. 日仏協約 2. 日英同盟 3. 日露協約 4. 三国干涉

問16 1874年に民撰議院設立の建白書を提出し、運動のきっかけを作った中心的な人物は誰ですか？

1. 板垣退助 2. 福沢諭吉 3. 西園寺公望 4. 大隈重信

答え合わせ・解説

問1	答え 3 自由民権運動	自由民権運動は、憲法の制定や国会の開設を要求する運動です。板垣退助が「民撰議院設立建白書」を提出したことをきっかけに、全国で演説会が開かれ、多くの人々が署名活動などに参加しました。
問2	答え 4 総力戦	総力戦とは、兵士だけでなく工場労働者や女性なども含め、国家のすべての資源・物資・国民を戦争遂行のために動員する戦い方です。これにより、軍事のみならず国民生活全体が戦争の影響を直接受けるようになりました。
問3	答え 1 岩倉使節団	岩倉使節団は、1871年に岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国に派遣されました。団員の中には、将来を期待された子どもたちもおり、その一人が後に女子教育に貢献する津田梅子でした。彼らは欧米で現地の文化や制度を広く学びました。
問4	答え 2 軽工業	大阪紡績会社に代表される紡績業など、衣服や日用品を扱う「軽工業」が産業革命をリードしました。これにより、日本は外国から綿糸を買う立場から売る立場へと大きく転換しました。
問5	答え 3 下関条約	全権大使の伊藤博文と陸奥宗光らが交渉し、1895年に下関条約が結ばれました。内容には朝鮮の独立の承認、賠償金の支払い、そして台湾、澎湖諸島、遼東半島の割譲が含まれていました。
問6	答え 4 生糸	製糸工場で生産された生糸は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。この輸出で得られた資金が、工場や軍の整備など、日本の近代化のための莫大な費用を支えました。
問7	答え 2 自由党	1881年に結成された自由党は、フランス流の急進的な民主主義思想を取り入れ、国民の権利と議会政治の実現を強く主張しました。大隈重信の立憲改進黨が知識人層に支持されたのに対し、自由党は農村部を中心に支持を広げました。
問8	答え 1 下関条約	この条約で、清は朝鮮が独立国であることを認め、日本に対し賠償金の支払いと、台湾・澎湖諸島および遼東半島の割譲を約束しました。しかし、この日本による大陸への進出を警戒したロシア・ドイツ・フランスが、直後に「遼東半島を清に返せ」と迫る三国干渉を起こしました。
問9	答え 3 北海道	明治政府はロシアなど周辺国の影響力を警戒し、この地の統治と開発を急ぎました。「開拓使」という役所を設置し、屯田兵による入植や農業・鉱業の開発を国家プロジェクトとして推進しました。
問10	答え 4 辛亥革命	1911年、孫文が唱える三民主義に影響を受けた人々が各地で蜂起しました。武昌での武装蜂起をきっかけに革命は全国へ広がり、清の皇帝が退位して清朝は崩壊しました。1912年に中華民国が誕生し、中国は長年続いた皇帝による専制政治から、共和制国家へと大きく転換しました。
問11	答え 2 立法	大日本帝国憲法下では、立法権は天皇に属し、その協力機関として帝国議会が設置されました。議会は法律の案を審議・承認することで、国家の仕組みやルールを整備する役割を担いました。
問12	答え 1 八幡製鉄所	日清戦争の賠償金を建設費用に充てて、1901年に福岡県に設立されたのが八幡製鉄所です。日本初の本格的な製鉄所として、鉄鋼の生産能力を飛躍的に向上させました。
問13	答え 3 富国強兵	国内の産業を育成する「殖産興業」を車の両輪として、軍事面での強大化を図りました。特に徴兵制の導入と、近代的な兵器の開発、工業化による国家財政の安定が主な柱です。
問14	答え 4 帝国主義	この支配の形態を帝国主義といいます。自国の利益を最大化するため、軍勢力を行使してアジアやアフリカを次々と植民地化しました。日本もこの流れの中で、近代化を急ぎ、国際的な地位を確保するために帝国主義的な政策を展開するようになりました。
問15	答え 2 日英同盟	1902年に締結された日英同盟は、両国の利害を調整し、アジアでの協調を図るための同盟でした。1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を理由に連合国側として参戦し、東アジアでの影響力を強めました。
問16	答え 1 板垣退助	1874年、板垣らは「民撰議院設立の建白書」を提出し、政府の独裁的な姿勢を指摘して国会の開設を求めました。この動きが「自由民権運動」として全国へ広がり、政治意識の高い人々を巻き込む大きな潮流となりました。